

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年7月分】

1. 実施した活動の概要・状況

7月11日から勤め始め、地元の方との交流と下北という地域を知るために「下北ジオパークモニタリング勉強会」「鯛島清掃活動」「川内昔話講演会」「芦崎清掃活動」などのイベントに積極的に参加した。また、かわうち・まりん・びーちに併設されている「海の家」の担当を務め、7月30日に営業開始をさせていただいた。川内町の活性化を図るために設立された任意団体『Reborn かわうち』にも参加し、今後はさらなる地域との交流を深めながら活動を進めていきたい。

（主な活動）

◇7月13日（水） 下北ジオパーク モニタリング勉強会

下北ジオパークの中の大間周辺地域のモニタリングの勉強会を行った。

「大間崎と弁天島」「材木集落」「津鼻崎」「垂水海岸」の箇所をまわり、モニタリングの重要性と方法を学びながら、下北ジオパークの成り立ち等を勉強した。勉強会を進めながら下北の豪雨災害がなぜ起こったのかなども聞き、地形を残したい努力とその地形がゆえに生じる災害という関係性を知り、自然との共存を考えさせられる内容であった。

今後も自主的にモニタリング調査の手伝いをしつつ、下北を知るこのような企画に積極的に参加し、下北に関する知識と自分で見るという体験をふまえて、どう解説していくかを考えたいと思った。



◇7月18日（月） 鯛島清掃活動

脇野沢地区の鯛島清掃活動に参加した。

鯛島は今まで上陸したことがなく、今回初めての上陸であった。脇野沢地区の各団体の方々が集結し、鯛島に神様が来る前に掃除をするということで、ブラシで地面の糞を落とすチームと、鯛島全体のゴミ拾いをするチームに分かれ、作業を行った。その後、鯛島にまつわる伝説や地形の解説があり、脇野沢周辺を夢の平成号に乗りながら見ていくというイベントであった。私はブラシで地面の糞を落とすチームに参加した。

鯛島を清掃しながら脇野沢地区の方々と交流する中で、自分の知らない世界が広がっていることを実感した。脇野沢地区のおいしい食べ物や地形の歴史、村の歴史、遊歩道などもっと勉強して、観光できたお客様に解説していきたいと思った。

今後もこのようなイベントに積極的に参加し、地域の方々との交流を深めていきたいと思った。



2. 翌月の活動予定

8月は小学校でも夏休み中ということもあり、磯の学習会などフィールドでワークが増える時期である。海と森ふれあい体験館内の水槽の充実もはかり、来館されたお客様に海と森の命のはぐくみを生き物を通して伝えていくために設備の充実に努めていきたい。また、ホタテに関する企画が8月9月とあるので準備等進めていきたい。自分のこれまでの経験を活かして今まで以上にお客様の体験館の利用を促進していきたい。

8月4日 大間 海と日本プロジェクト 講師として参加

8月13日 かわうちねぶた祭代替イベント

8月30日 ホタテの企画展（～9月19日）